



異形に愛され、堕ちる人妻

かりの
まき
刈野 麻妃

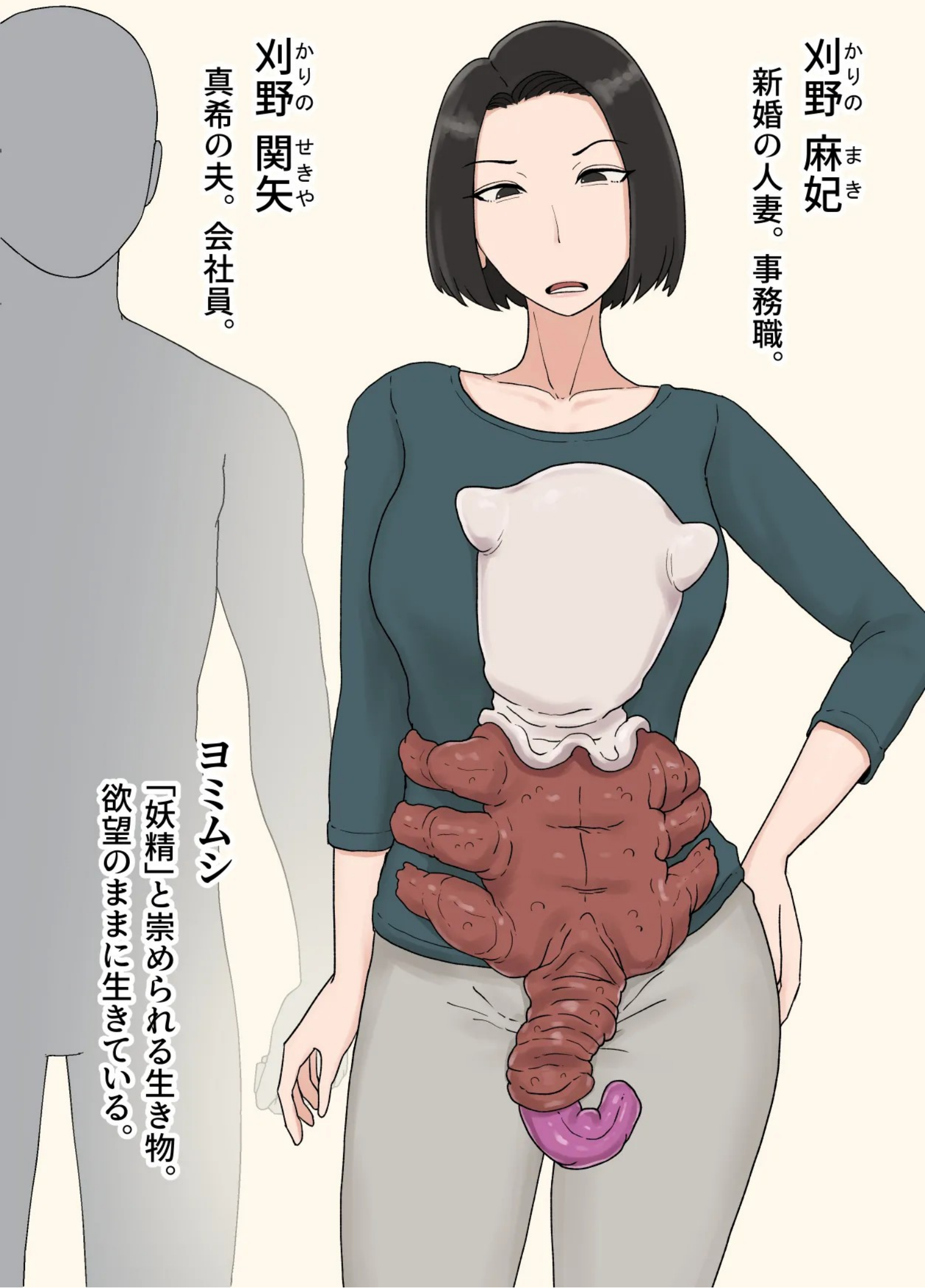
新婚の人妻。事務職。

かりの
せきや
刈野 関矢

真希の夫。会社員。

ヨミムシ

「妖精」と崇められる生き物。
欲望のままに生きている。



それは、ある日の朝に
突然あらわれた。。

いつものように
ゴミ出しをしていると...

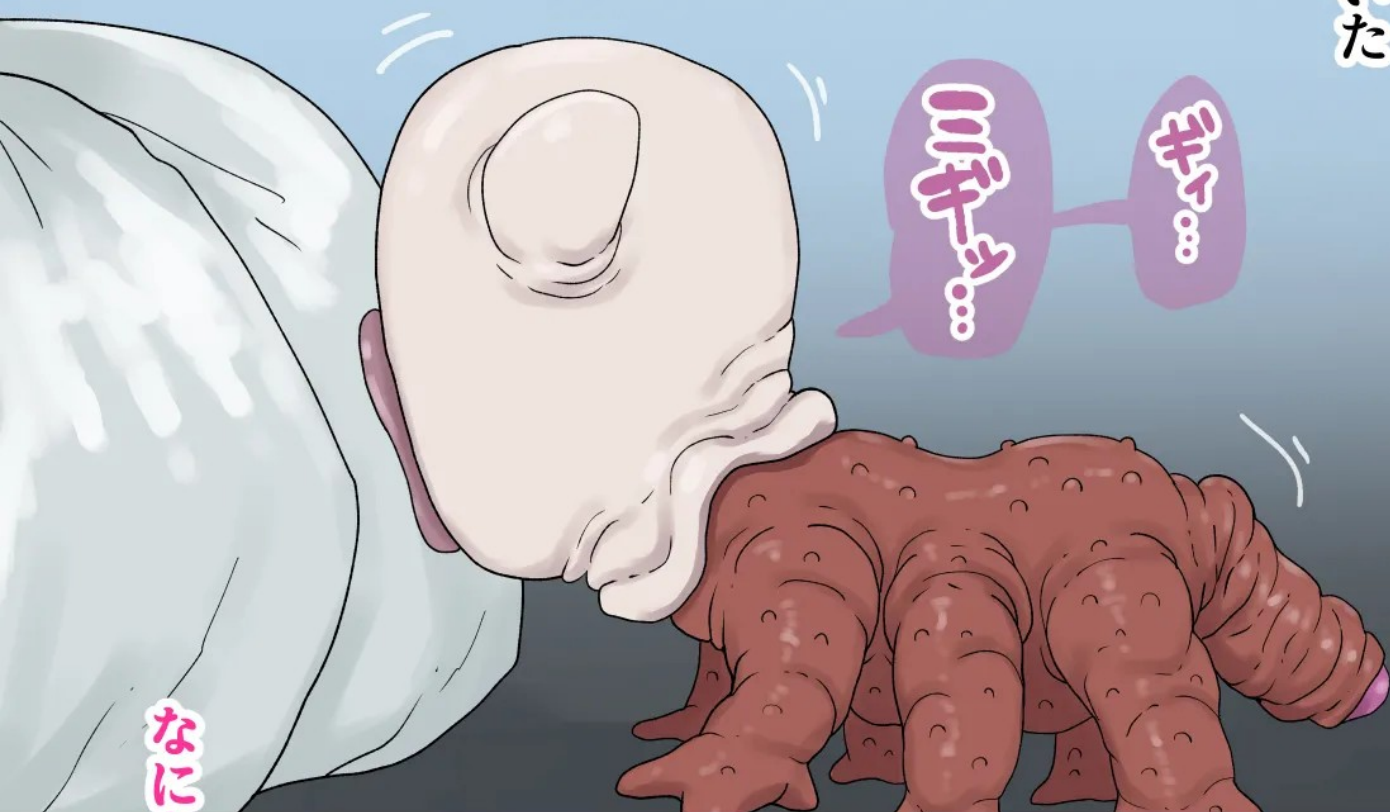
よいしょっ...と、
——んっ？ なんだろ？

ガサッ...

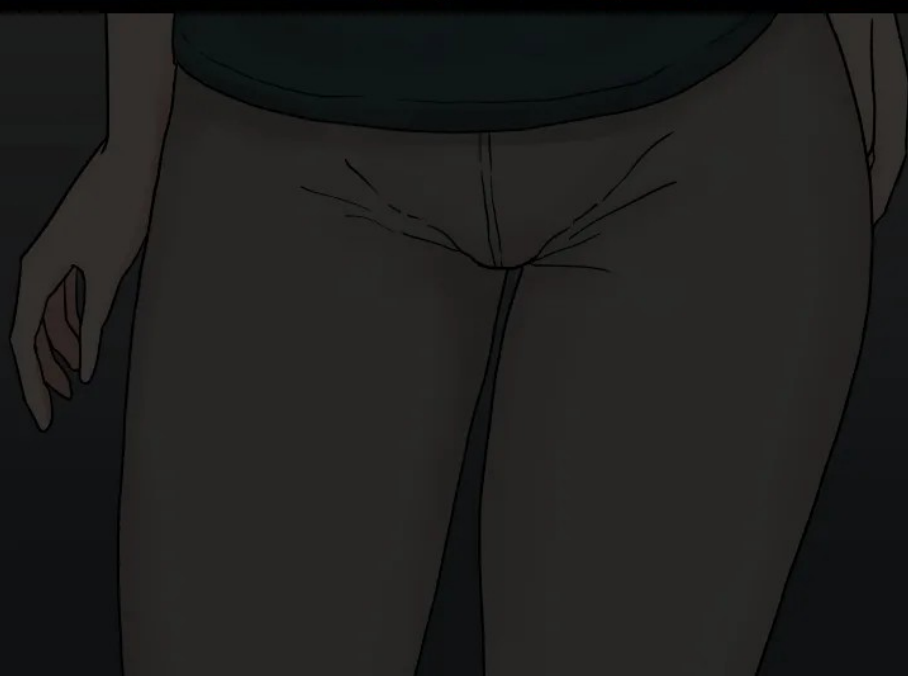
ガサガサッ...



そこには見たことのない
生き物がゴミをあさっていた



なにあれ... きもちわるっ...



不気味な見た目から
嫌悪感がこみ上げてくる。



けれど、未知の生き物に対する
好奇心からか目が離せなかった。

そのまま見続けていたら急に…

ニギッ!!

えっ!?!

ガ
シ
ッ
!!

バ
ッ
!!





ねえっ！ちよつと！！これ何っ！？
なんとかしてっ…！！

ドタドタッ！！

朝からなに騒いで…って、
うわっ！！それって…



—…もしかして

「ヨシムシ」…?!

♡
「ムシムシ」♡

??

よ、よみむし?
なにっ、なんなのそれっ?



ヨミムシはこの地域で「妖精」と呼ばれて
崇められているとても珍しい生き物で、
見つけた際は役所に報告が必要とのこと。

そして、ヨミムシに気に入られた人は
「お世話をする義務」があるらしい。



はあ!? そんなのイヤッ!
こんなやつ世話なんて...っ!!

フのっ...ふ

ググッ...

ム...ム...ム...



あつ、ちよつと!
そんなことしたら...



ビクッ

えっ...!!

ハァーッ!!

パリンッ!!

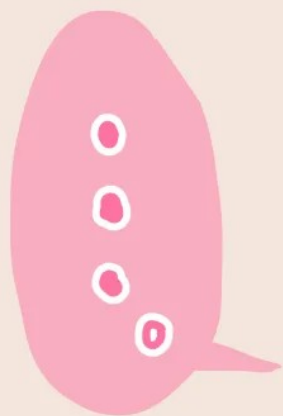
ヨミムシが機嫌を損ねると
なぜか悪いことが起こるみたいなんだ…

ピタッ…

ム…

ム…

とりあえず俺が役所に連絡するから
刺激しないようにジツとしてっ…!!



刺激しないようにって、
そんなこと言われても…

アイ、ごめんね…

スリッ…

ム…

お…

ウネッ…

すみません、
ヨミムシについて
お聞きした…
はい…

なんか擦りつけてるんだけど...
もうっ、なんなのー！

あ...なんなのー！

ニャー♡♡♡

グニャ♡♡♡

ズリッ♡♡♡

ズリッズリッ♡♡♡





わっ!!

えっ!!

うん...! けええ!!

ゴクゴク

きゅん

うん

うん

—…こいつもしかして
「射精」したの…？

好かれるってそういう…、
もうっ、ほんと最悪…っ!!

…ムミミ〜♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
クニクニ…♡♡♡

♡♡♡
ムクムク♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡
ドロク…♡
♡♡♡



よしっ、とりあえず連絡したけど…、
だ…だいじょうぶ…？

んなわけないでしょ!!
もうやだっ…!!

担当の人が来るみたいだから
ひとまず待つてようか…



こうして『ロマンマン』との生活が始まった。

役所の担当者によると安全のために
ヨミムシに好かれた人が付きっきりで
お世話をする必要があるらしい。



これはヨミムシが飽きるまで続き、
その間は外出が難しいため
仕事をしばらく休むことになった…。

ごめん…、もう仕事休めなくて…。
帰りに買い物はしてくるから！

まあしょうがないよ…。
でも…、なるべく早く帰ってきてね！

うん…！
じゃ、いつてきます！



—…はあ〜…、やだなあ〜…
なんであたしなんだろ…

ハア〜…

グミッ〜♡

がチャ〜…

さっさと飽きて
どっか行かないかなあ〜…



世話をしている間は
自治体からの補助金で
お金の心配はなく…、
むしろ普段の給料より
多くもらえた。

それでもこんなやつとの生活は
一刻も早く終わってほしい…。



朝からずっとくっついて
ほんと気持ち悪い…!!

仕方なく言うこと
聞いてるけど…

ん
ん
ん

決まりじゃなきゃ
こんなこと絶対しないから!



—!?!?
(いふふ...ふふ)

「ハルハ」

「いっ!?!」

「ハルハ」

「ムギユッ」

(もうっ、急になんの...!?)



落ち着いて、殴りたいけどがまんがまん

なになにの...?

[illegible]

それからしばらく経っても
こいつは飽きることなく
胸を揉み続け……

ムウムウ

んっ♡

ピクッ...

そして、ただ揉まれているだけなのに
なぜかあたしの身体は熱くなっていた…。

ギューギュー

ギュー

(この…っ、あたしが
何もできないからって
調子のもって…!!)

…ムウ?

ハア…♡

ハア…♡

ハア…♡

♡ムムム…♡

♡ムム…♡

ねえ、ちよつと…!!
もういい加減に…





↑…えっ…
なにこれっ…？

ハァ…ハァ…
ハァ…ハァ…

ハァ…ハァ…
ハァ…ハァ…

ハァ…ハァ…
ハァ…ハァ…

ハァ…ハァ…
ハァ…ハァ…

ハァ…ハァ…
ハァ…ハァ…

ハァ…ハァ…
ハァ…ハァ…

(あたし…いまいったの…？)

こいつはその後も
しつこく胸をいじり続け
……。〃

あたしは快感を受け入れないように
我慢して時間が過ぎるのを待った。。



ガッ

ただいま…っ！
一人で大丈夫だった？

おかえり…っ！
もう、大変でさあ…



こいつずっとベタベタ触ってくるから
ほんっとにキモくて…っ!!

ムッ♡♡♡

ペロッ…♡♡

パニッ♡♡♡

お、おつかれさま…
今日は俺が夕飯作ろうか?

ムッ♡♡♡

いやっ大丈夫、あなたも仕事で疲れたでしょ？
このままでも家事はできるから！

そっか…、じゃあお言葉に甘えて
先にシャワーでも浴びてこようかな…



まだくっついて…
重たいし邪魔なんだけど…

ガ
ジ
ン
…

せめて料理してる間は
大人しくしててよ…





ひびき!!

クワッ!!

グニョグニョ♡

ズリッ...♡

グニョグニョ...♡

このっ…、言ったそばから…!!

ムウ…ムウ…

ちゅ…ちゅ…!!

ん…ん…

ズン…ズン…

ゲ…ゲ…

あたしが言ったこと
わかっててやってるでしょ!?



(これっ…、ただ上から
押しつけられてるだけなのに…)

○○○♡

んっ○○○♡

ギュっ…♡

(なんであたしこんなので
感じてるの…!?)

♡グッ…♡
♡グッ…♡

♡グビグビ♡



はあ〜…さっぱりした〜…!

がチャッ

ピクッ!!

ピクッ…

なにか手伝わることある?!



——…えっと、今は大丈夫かなっ！
テレビでも見て待ってて？

そっか、りょうかい

。。。。

ははっ。。。。

ゲッ。。。。

ギョ。。。。

ゲクゲク。。。。

（あ、危なかった〜、
あのままだったらあたし〜）



ハヤッ!!

ヒッ!!

んおっ!!

ズルッ

ズムッ!!

ハッ!!

ヒッ!!

ん…？なんか言った？

なっ、何も言っていないよ？

気のせいじゃない？

…？そっか…

ピクピク♡♡

このっ…♡♡

ぐわん…♡♡

ズン…♡♡

ズルん♡♡

(こいつ…もしかして
このまま続けるつもり…？)

(この…っ、急に激しいっ…、
声…抑えないと…っ！)

ム…ム…ム…
ム…ム…ム…

ズ…ズ…ズ…

ズ…ズ…ズ…
ズ…ズ…ズ…

ビクッ…!!

ん…ん…ん…
ん…ん…ん…

(なのにつ…これっため…っ、
あの人が近くにいるのに…っ!!)



(あたし…こんなので
またイっちゃった…)

ムンムン…ムンムン…

ハレ…ハレ…

ハレ…ハレ…

クルクル…クルクル…

ズンズン…ズンズン…

ドロドロ…

ムンムン…ムンムン…

(…もしかして…
これが毎日続くの…?)

それから毎日のように
性的なイタズラが続いた。

あたしは必死で我慢するが
いつも身体が反応してしまう。。。

そんな苛立たしい
日々を過ごしていた——！！

…あれ？めずらしいな、
今日は「ヨシ」がいないね

えっ？ああ…あいつね…、
今朝はまだ寝てるみたいだけど



そっか、今日は大人しいといいね…
それじゃ、いってきます！

あはは…、
いってらっしゃい…

ガチャッ…

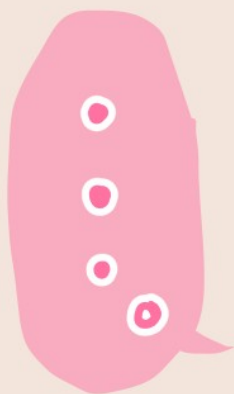
ズドン…



(.....ちとど...、
あいつも寝てるし.....)

ムムム...

(シチャおうかな...)



あいつが来てから人にも会えず
自由に外出もできない…。

それにあのイタズラのせいか
ムラムラすることが多くなり…

ドサッ…

ズン…

その結果、空いた時間は
「オナニー」をすることが増えた…。

↑…あたし、ヒマさえあれば
すぐにオナニーすること考えてる…)

(でも、なんかずっと
ムラムラが収まらないし…)

クニクニ…♡♡



(あの人とはしばらくだし…、
最後にシたのいつだっけ?)

ハフ…♡

ハフ…♡

あっ…♡

ムニャ…♡

↑…したいな…、セックス…っ♡

クニクニ♡

ドクニ♡



—…えっ？わっ！！なにっ!!

「ぎゅんっ」♡

んっ!!

ヒクッ!!

「チー」♡

ガッ!!

ちよつと、ヨシ…っ！
あんたいつのまに起きてたのっ!!



(いいところだったのに...
なんでこんなタイミングで...!!)

ムニイ♡ムニイ♡

ムニイ♡ムニイ♡

もぉ〜

ムニイ♡ムニイ♡

ゲルッ...

も...う...い...ら...い...



でも…もう少しでイけそうだし…

ムラッ♡

ムラッ♡

ドクッ♡

↑…ちよつとだけ
好きにさせてみようかな…

(いつの…パンツ越しでもすごい熱い…)

ムウ? ムウ?

ドクン…

…あっ♡
そっ♡

ドクン…

(ちよつともどかしいけど
これならイケそうかも…)

グニャ…

グニャ…



(えっ!?これっ、はいってる...!?)

ムカっ♡♡♡♡♡

ハイ...♡♡♡

ハイ...♡♡♡

?! ?!

!?

ちよっ...

ちよっ...ちよっ...!!

ムニッ...!!

(とにかくっ...はやく抜かないと...!)

ビョッ...♡♡

ビョッ...♡♡

ゲゲッ...

ヌチャッ...♡♡

ズルッ...♡♡



んおっ!?♡ ちよつと...っ!?♡
ヨミっ!! やっ、やめなさいっ...!!♡

ムルムル!!♡

ドクッ!!♡

ムルムル!!♡
んおっ!!♡

ドクッ!!♡

ビクビク!!♡

ズンズン!!♡

ドクッ!!♡

っ...!!♡ なにこれっ...!!♡
なんでこんな感じるのっ...♡



(やばっ...はげしっ...♡
これっ...おかしくなるっ...!!♡)

ムニッ!!♡
ムニッ!!♡

ガクガク♡

ビクッ♡

ズン...♡
ズン...♡

ムニッ♡

ギョッ♡

ビクッ!!♡

ズン!!♡
ズン!!♡
ズン!!♡

ズン!!♡

(こんなのっ...だめ...っ!!♡)



(こいつ...っ、なかに...だしてっ...
なにこれっ...イクのとまんない...っ♡)

ム...ム...ム...♡

ビク...♡

ゴクゴク...♡

お...お...♡
ほ...ほ...♡

ムギミタ...♡

モ...♡

グ...グ...♡

ゴ...♡

ゴ...♡

ゴ...♡

(こんなの...はじめて...っ♡)

↑…最後までシちゃったけど
これ…大丈夫…かな…(?)

ハッ…♡

ハッ…♡

ガッ♡
ガッ♡

ド♡
ド♡

ブル♡
ブル♡

(でも、こんなことしたなんて
だれかに話すわけにもいかないし…)



それから、数日後……

こいつは一向に離れる気配がなく…

あの日を境に以前よりも
さらに気に入られてしまった…。



もうっ…またしてほしいの？

スリッ…♡



ちよう…

ムン…

ペロッ…♡

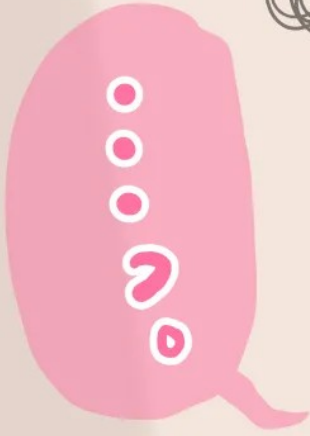
朝も昼もしてあげたのに
まだもの足りないわけ？

ムニッ…♡

あれから心配になって
役所の窓口で相談すると、
ヨミムシとセックスをしても
身体に害はないらしい。

むしろ我慢させすぎると
何が起るかわからないため
可能であれば受け入れるか…、

それが難しいなら手で処理する
ことをすすめられた…。



もうっ、そんなに吸って…、
どんだけおっぱい好きなの？

〜

Pluuu...
Buuuu...
Buuuu...

ピュッ...♡

スルッ...♡

ズルッ...♡
ズルッ...♡
ズルッ...♡

プチュッ♡

グググググ
グググググ

赤ちゃんじゃないんだから...

(それにしても相変わらずでつかい…
これが…はいつてたんだよね…)

ははっ…

ハムッ♡

ハムッ♡
ハムッ♡

ハムッ♡

ジュルッ♡

(あたしの中に…)

グチュ♡
グチュ♡
グチュ♡

（あときはどうかしてたな〜…
すぐに止めなきゃいけなかったのに…）

（からだ…シビれてっ…
イクの止まらなくて…っ♡）

ゴエパン…

ゴエパン…

ゴエパン…

ゴエパン…

（突かれるたびに…
あたま真っ白になって…）

（あついのたくさん
中に出されて…っ♡♡）

↑…あ、あんなことつ…
もう二度としちゃいけない…(っ)

フーッ…♡

フーッ…♡

ビクッ♡

ヌメッ♡

ヌメッ♡

ダダッ♡
ダダッ♡

「いや…、そもそもあたしは
別にシたくないし…」







おっ...
おかしな...
おかしな...
おかしな...

ハッ...
ハッ...
ハッ...

バタン...
バタン...
バタン...



「あたし...っ、
今なに考えて...」

ゴク...!!

おっ…おかえり…、
今日もおつかれさま…！

ガチャン…

ただいま…って…えっ!?
どっ…、どうしたのその恰好…?



あゝ…これっ？
ヨミのせいですぐ汚れるから
最近は薄着で過ごしてて…

ムウ…♡

ス…

あはは…

そ…そっか！
なるほどね…





??

???

↑

ムムム...

ムムム...

ムム...

(ゴクッ...)

ムム...

いや…その…最近忙しかったけど
久しぶりにどうかな…って…

ビクッ…

えっ…
う、うん…!!



その日の夜……



○○○○♡○○

ハァァァァァ!!

フサ...ッ

あっ...!!

フサ...ッ

クチ...!!

ヌチュ...!!

（久しぶりにしたけど…、
この人の…こんなもんだっけ？）

。。。？

？

。。。ん？

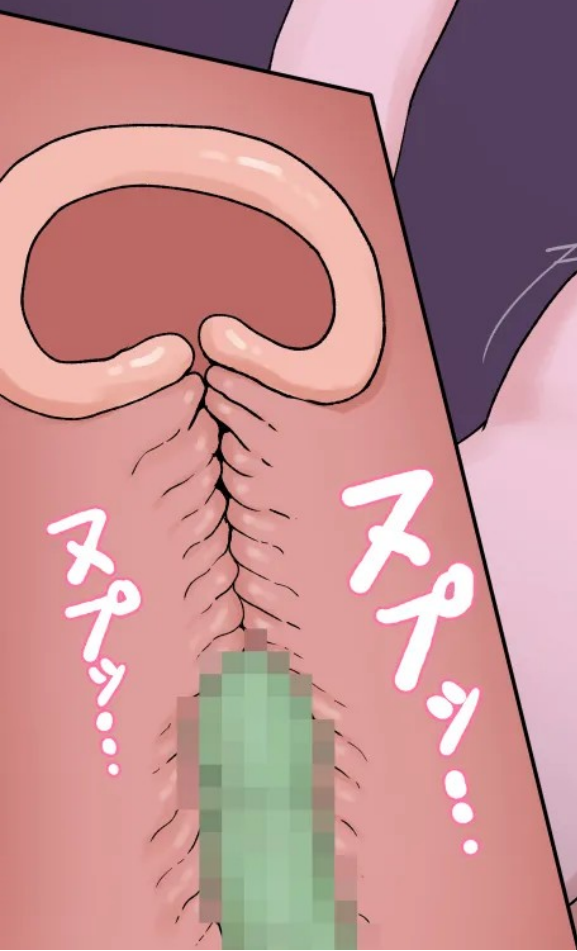
（ちよつと足りないっていうか、
なんかすごいもどかしい…っ）

ユサッ…

グイッ…

スプッ…

ヌプッ…



(比べるわけじゃないけど...
もし...もしこれが...)

。。。

(あいつの...ヨミのだったら...)



...コト

...コト

「もつと太くて...おおきくって...」

ハ...ハ...

あ...♡

「きつと...一番奥まで届いちやう...♡」

ゾクッ...♡

ビクッ...♡

ギチャッ...♡

ギチャッ...♡



(ヨシはいつのことなんて気にせず
もう好き勝手にうごいて...)

ぽっ♡

ぽっ♡

ビクッ♡

(抑えようとおもっても
つい声がちやつて...♡)

フサッ...♡

フサッ...♡

ビクッ♡

ズブ♡

ヌキッ♡

グニッ♡

ズブ♡



(どんどん動きがはげしくなつて…
全身がゾクゾク震えて…っ♡)

ビクッ♡
ゾクッ♡

ビクッ♡

ゾクッ♡

ビクッ♡

ゾクッ♡

ドクッ♡
ドクッ♡

ドクッ♡

んぎっ!!♡

ゾクゾク♡

(それで♡♡♡)

ビクッ♡





はあ...はあ...すごいっ...
なんか今までで一番よかったよ...!

え...?!

あはは...。

そ、そう?よかった...
あたしもすごい感じちゃった...

ピクピク...。

ピクピク...。

ピクピク...。



ムラ...ムラ...

ヒクッ...

ヒクッ...

ウズッ...

○○○○○

！…おい、先にシャワー使う？

ハッ…

えっ？ あっ、うん！

じゃあそうしようかな…



↑……あの人の前では
正直に言えなかったけど……)

ん
〜……

(あんまり感じなかったし、
一度もイけなかったな……)

バタンッ……



（それに…あの人としてるのに
あたし…ヨシのこと考えて…）

カママ…

（あんなやつと比べたって
しょうがないのに…）

ムクッ…

（なのはどうして…）



（イタズラされるようになってから
オナニーばかりしてるし…）

ハァー…♡

ハァー…♡

（最近はこの時のセックスを
何度も思い返して…妄想して…）

（あたしって…
変態なのかな…）

ドクン♡…♡
ドクン♡…♡



（あつ…、ダメダメっ…!!
また変なこと考えてる…!!）

ハッ…

（とりあえずシャワー浴びて
あたまをスッキリさせないと…）

ムニャ…?

ゴムン…



わっ...もう寝たんじゃなかったの？

ガッ...
リッ...♡

こんな時間まで
起きてるなんて...



ちよつと…今汗すごいから
そんなにくっつくと汚れちゃうって…

ムカムカ♡♡♡

スリスリ…♡♡♡

グニャ…♡♡♡

ムンムン…♡♡♡

もぉー…

せつかく寝る前に
洗ってあげたのに…





……ねえ……、また汚れちゃったし……

ドクン……

ドクン……

一緒に……
シャワー浴びる……？





ただシャワーを浴びるだけ…
いつものように身体を洗うだけ…。

でも…もしあの時みたいにな
また「間違い」が起きたら…？

そんな妄想が頭から離れず、
悶々としたまま浴室に向かった…

ちよつと...そろそろ降りなさいよ...

もう...っ

ん...い...

ギョッ♡♡♡

くっついたままじゃ
からだ洗えないでしょ...?!

グ...♡♡♡

ブルンッ...♡♡♡



いらい...ちよつと...だめ...♡

あ...♡

ム...♡

すぐシャワー浴びて

今日はもう寝るんだから...♡

ピク...♡

ム...♡



↑…あの時みたいに
アソコ擦りつけてる…っ♡

っ♡

んっ♡

(このままじゃ…また中に…)

ドクドク…っ♡

ズリッ…っ♡

ズリッスリッ…っ♡



えっ...

。。。

グイッ...

ゴクッ...

スッ...

ヌチャ...

えっ...と...
ど...どうかした...?

ム...

(なんで...? いま絶対に
挿れてくると思ったのに...)

クリッ...

スッ...

ムラ...

(これ…っ、焦らされてるっ…っ!♡)

おっ…っ♡

ソクソク…♡

ほっ…っ♡

…ムム♡

(あたしが待ってるのわかってて
わざとやってる…っ!!♡♡)

ゴクゴク…♡

クニクニ♡

ゴク…♡

ペチッ♡ペチッ♡



↑...ふふふ...!!

ふふふ...!!

ふふふ...!!

ふふふ...

ふふふ...

ふふふ

ふふ...

ふふ...

（いつもだったら好き放題がつついてくるくせに...!!）

スッ...

ずっとごまかしてたけど…)

でも…もうっ—

—…ねえ…、あ…あたし本当は…
またヨミと…セックスしたかったの…♡

—…だからっ…おねがいつ…♡
おっ…おちんちん…挿れて…っ♡♡





ビクッ!!

ドキッ!!

ニギッ!!

パッ!!

ギョッ!!

ビクッ!!

ズクッ!!

↑……えっ?……なにこれ……?
あたし……今……いったの……?)

……あえっ?……♡♡♡

ハッ♡
ハッ♡

ビクッ♡……♡
ビクッ♡……♡

キュン♡♡

ギョッ……♡

ビクッ♡

ムウ……?♡

(まだ挿れただけなのに……?
こんなに気持ちいいなんて……!)

ビクッ♡……♡

—だ…大丈夫…、
ちよつとビックリしただけ…っ♡

ハア…♡
ハア…♡

ピクッ…♡

スッ…

ピクッ…♡

ピョッ…♡

ムニニ…？

遠慮しないで…ほらっ…、

もっとはげしくして…♡♡

グイッ…

ズルッ…♡





「…ヨミのおちんちん…っ、
やっぱりあのひと全然ちがうっ…♡」

おっほっほっ♡

ぐっ♡

ムン♡ムン♡

（いちばん奥までっ…♡
気持ちいいと何度もっ…♡♡）

ギュー♡

ドモ♡

ズン♡

ズン♡ズン♡



いっしょに

Amor!!!

(さっきより…っ♡♡
すっいのきちやっっ…!!♡♡)



グチャッ!!♡ ぐちゃ♡♡ ぐちゃ!!♡ ぐちゃ!!♡



—おなか…あつつい…♡

せいえき…たくさんでてる…♡♡

ぽんぽん…♡♡♡

グングン…♡

キュン♡

ドクドク…♡

ドク…♡

ドロ…♡

ズ…♡

（あたま…フワフワして…♡

きもちいいの…とまんない…♡♡♡）

ム…♡

グン…♡

パッパッ♡



——はあ……はあ……っ♡
どお……？これで満足した……？

ハ——♡……♡……♡
ハ——♡……♡……♡

ビクッ♡……♡

ザクザクッ……♡

ムウ……♡

ジュッ♡……♡

いや……足りなかったとしても、
さすがに今日はもう無理……っ♡



——でもまあ…もしあんたが
本当にどうしても我慢できないときは…

また…シてあげてもいいかな…♡♡



それからあたしの生活は大きく変わった。

あれからヨミは
いつもセックスを
シたがるようになり…



夫の前でも気にせずイタズラで
アピールしてくるようになった…。

そいつ…なんか最近
さらにワガママになってる
みたいけど大丈夫？

ムカムカ♡♡♡

ピクッ…♡

…えっ？ あっ…だいじょうぶ！
こんなのよくあることだから…

ムニッ♡ ユツ…♡

ムニッ♡…♡





おぞろ

ニミ

ビクッ...

ビクッ!!

グッ

グッ!!

ちよっ...、ほんとに大丈夫っ!?

—...っ!?

だっ…大丈夫だから…っ♡

ほらっ…そろそろ出ないと
間に合わないんじゃない？

あはは…っ♡

ハア…っ♡

ヒョッ…っ♡

ハア…っ♡

ハア…っ♡

ゴッ…っ♡

ムギュっ♡

—…ああ…うん…、
まあ、なんかあったら連絡して！



——…ちよっとっ…
あの人の前ではやめてって
何度も言ってるのに…

ムカッ♡
♡♡♡♡♡

。。。もっ♡

そんなにガマンできないの…？

ムニッ♡
♡♡♡♡♡

バタン…



最初はくっつくだけで不快だったのに…

今ではこのイタズラもどこか
愛おしく感じてしまっている…。



…なに？急に大人しくなってる…



ぺろっ…♡

ムニャ…♡

さっきはあんなに乱暴したくせに…



！…したいのはわかってるから…、

フグッ…♡

ペロ…♡

ズリッ…♡

でも…先に食器洗いたいんだけど…！

フーッ…♡
フーッ…♡





♡ / 7 / 7 / 7 ♡
♡

ooo
♡

グイッ..
♡

レロオ..
♡

ooo
♡

ちよつとお..
♡

↑……もう……、また流されちゃってる……)



(あっ…だめ…キスとまんない…♡)

♡バグバグッ…!!♡

んむっ♡
♡…♡
♡…♡
♡…♡

(こっちもその気になっちゃう…♡♡)

んちゅっ♡
♡…♡
♡…♡
♡…♡

ちゅるっ♡
♡…♡
♡…♡
♡…♡

グチュ…♡
チュ…♡
チュ…♡
ヌチュ…♡



はあ...♡しょうがないなあ...♡

キュンッ...♡

ペロ...♡

ハア...♡

ハア...♡

今日だけなんだからね...♡♡



おかしいことだとわかっているのに、

『あの快感』を一度でも知ってしまったら
もう我慢なんてできるはずがなかった。。。

...もしかして口でしてほしいの?

...さっきからずっと見せつけて...

くは...♡

ガニツ...♡

...もしかして口でしてほしいの?

...さっきからずっと見せつけて...

キル...は...♡

ガニツ...♡

...もしかして口でしてほしいの?

...さっきからずっと見せつけて...

くは...♡

ガニツ...♡

...もしかして口でしてほしいの?

...さっきからずっと見せつけて...

くは...♡

ガニツ...♡

こんなことまでしたがるなんて...

あの人にもしたことはないんだけど...





フタムシ...♡

プクッ♡

チン♡

.....こんなかんじ？

くっさ...それに変な味...♡

ねろ♡

ピクピク...

い...ろへ

ム...

ギョッ...



!?!!

どぜん!!

どぜん!!

ズレッ!!

ハダッ!!

~Eo7y...~

ムニャムニャ♡

「こんなデカイの……むりっ」

《これマズいのに…クサいのに…♡》

♡ゾクゾク♡♡♡

ムフー♡…♡

ムフー♡…♡

《…もつと…舐めてたい…♡》

♡ぐんぐん♡

♡ジュジュ♡

♡ジュジュ♡

♡ぐんぐん♡

♡ピクッ♡…♡

♡ピクッ♡…♡



↑…口の中…♡
ちんぽでいっぱい…♡

くるしいのに…♡
とまんないっ…!!♡

ビクッ♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡



(せいえき...すい...♡)

...ながしこまれてる...♡♡♡)

ソクッ...♡

ゴクッ...♡

(あたし...こんなの飲んで...♡♡
よろこんじゃってる...♡♡♡)

ゴクッ...♡

ゴクッ...♡

ゴクッ...♡

ゴクッ...♡

ゴクッ...♡

ゴクッ...♡

ムニ...♡

ビクビク...♡



—…せいえき飲んだだけで
イツちゃうなんて…っ♡

もう…あんたのせいで
変態になっちゃったかも…♡♡



……まだ満足してないでしょ？

ハァ……ハァ……♡♡♡

ピトッ♡♡♡

もっと気持ち良くしてあげるっ……♡♡♡



ついに夫婦の寝室でヨシと
セックスしようとしてひる...

夫への罪悪感はあるものの強烈な快感に
対する期待でかき消されていた。





ドクンッ♡♡♡♡♡

...ほらっ、おまたせ...♡

ハーン...♡

ハーン♡♡♡♡♡

いつでも挿れていいから...♡

ドクンッ...♡♡♡♡♡



↑...きたあ...っ!!♡

ムンッ♡

ビクッ♡

ズルッ...♡

んっ♡

ズプッ!!♡

・ビクッ...♡

ビクッ...♡

(挿れただけでも軽く
イっちゃいそう...っ♡♡)

おっ…♡ヨシのおちんちん…♡
やっぱすごいだよ…♡
これっ…♡♡♡

♡ゲッ…♡

おっ…♡♡♡

ゾクゾク…♡♡♡

おっ…♡♡♡

ゴウゴウ…♡♡♡

ズル…♡♡♡

ビクビク…♡♡♡

引き抜かれるだけで
身体ふるえちゃう…♡



——んっ♡……また焦らしてっ♡
あたしの気持ちわかってるくせに……♡

ムン♡ムン♡ムン♡

んっ♡……♡……♡……♡

もぎゅ♡……♡……♡……♡

そんなに言ってほしいの？
あれ恥ずかしいんだけど……♡

ビクッ♡……♡……♡……♡

ヌプッ♡……♡……♡……♡

ヌチュ♡……♡……♡……♡

ピクピク♡……♡……♡……♡

お、おねがうい…♡はげしくして…♡
ヨミのおちんぽでイかせてほしいの…♡

♡…♡…♡

♡…♡…♡

♡…♡…♡

♡…♡…♡

あたしのおまんこ…♡
めちやくちやにして…♡♡

♡ユサッ…♡

♡…♡…♡



—っ!!♡

(二氣に奥までっ!!♡♡♡)

ニギン!!♡♡♡

ズッ!!♡♡♡

ググッ!!♡♡♡

ズッ!!♡♡♡

ズッ!!♡♡♡

ん!!♡♡♡

ん!!♡♡♡

(いちばん気持ちいいと
押しつぶされてるっ!!♡♡♡)

ズッ!!♡♡♡



[illegible]

んおつ!!♡これっ♡これすきっ♡
 乱暴にされるのすきな...っ!!♡♡

まいご♡はげしう♡
 ママもわーっ♡ニ♡

いぐっ♡これもういぐっ♡
あたまおかしくなっちゃうっ♡
いちばんきもちいやつぐるっ♡

パニ

ググッ!!

ドキッ!!

ドキッ!!

ズブッ!!

ブルッ!!

わわっ♡うべり...♡
イっ...べり...♡♡♡





—ほ…おっ…♡♡♡…おっ…♡♡♡
イぐの…♡♡とまんない…♡♡♡
なかだし…ぎもちいい…♡♡♡

ビクッ…♡

ビュ〜♡…♡

ゴボ…♡
ビクッ…♡

ズン…♡

ビクビク…♡

こボッ…♡

もつとだしてえ…♡♡

あつついせいえき…♡

たくさんそそいで…♡♡

びく…♡…♡

ゾクゾク…♡

お…♡…♡

ム…♡…♡



↑…ああ…♡しあわせ…♡♡
あたし…もうもどれないっ…♡
あの人には悪いけど…♡

(ヨミとのエッチじやなきや
満足できなくなっちゃった…♡♡)



—あつ♡まだシたいの…？
ふふっ…あたしも♡♡♡

ムウ♡♡♡

ギュっ♡♡

グっ♡♡

キュッ♡♡

ズルっ♡♡

ハア♡
ハア♡

いー♡
いー♡

もっとう一緒に…
気持ちよくなる…♡♡





最近、「妻」の様子が変わった…。

—…お、おはよう…

あつ…おはよう、

朝ごはんできてるから〜



ああ…うん、ありがとう…

ヨミが来てから数か月…、
未だに家を離れる気配はなく……



今も妻は付きっきりで
こいつの世話を続けている。

世話が始まってしばらくは
ヨミのことをかなり嫌っていて…



愚痴を言いながら
嫌々続けていたが…

こらっくすぐったいって♡

ムンムン♡♡♡

スリッ♡♡♡

もー♡♡♡

元気なのはいいけど
ちよっとはガマンしてよね♡



今ではすっかり慣れたのか
嫌がっている様子もなく…

むしろ、この生活を
楽しんでいるように見えた。



ほぼ毎朝このソファに座って
慣れた手つきで相手をしている。

クニッ...♡♡

ムチッ♡♡

ブチッ...♡♡

自分は何度見ても慣れず、
まだ嫌悪感が拭えない...



こいつ…ずっと居座って
ほんといつになつたら
出ていくんだろうな…

えっ？ ああ…そうだね…
でも、あたしは別に…

スナ…♡

スナ…♡

ズル…♡

プチュ♡

ズル…♡

このまましばらく
続いても大丈夫だけど…

…えっ!? それ本気…?
こんな好き勝手してきて
気味わるいの…

まあ…確かに最初は
そう感じてたけど意外と
憎めないところもあってさ…♪



ちや…ふもり…

ぐんぐんぐんぐん…



ポポポポポポ
!!

ポポポポポポ
!!

ポポポポポポ
!!

ビクビク!!

ポポポポポポ
!!

ポポポポポポ
!!

あつあつ!!

ポポポポポポ
!!

(あんなに息が乱れて…
からだも震えて…)

はぁ…

ハア…

ビクッ…

ハア…

ブルン…

ビクッ…

ブルン…

ドロォ…

ビクッ…

ザザザ…

↑…もしかして
いっしょにイッた…?)

—…そんなジロジロ見て…
もうそろそろ準備しないと
遅刻しちゃうんじゃない？



えっ？あつ！
そ、そうだね…っ！！

いくら一緒にいる時間が長くても
あそこまで仲が深まるものなのか……。

自分が会社に行っている間に
何をして過ごしているんだろうか……。

この生活が続いたせいで
おかしくなってしまったのかも……。

色々な考えで頭がいつぱいになり、
妻が心配で仕事をいつもより
早めに切り上げて家に帰った——。

はあ…はあ…っ、
ただいまっ…！

ガチャッ…！！

—…あれ？
いつもだったらすぐに来るのに…

（もしかして何かあったんじゃないや…っ!!）

ドクンッ…

ドクンッ…

（いや、もう疲れて
寝てるだけかも
…）

おっ！っ！ただいま……

な……

え……!!?

ドク……!!

……う……え……?

ガッ……



寢室で裸の妻が
ヨミと抱き合っている。。

今朝の手で処理をする
こととはわけが違う。

目の前の光景が衝撃的で
呼吸を忘れるほどだった。。



—えっ…な…どうして…?

ムウ? ムウ?

っっっ

えっ…ちがくてっ…!
これは…っ、その…



とりあえず…、ヨミが落ち着かないと
話せないから外で待っててくれる？

ニギン!!
ニギン!!

ゲゲッ…

あつ…うん、わかった…



数分後…

…ごめん、おまたせ…



ボタン…

…いやっ…うん…大丈夫？
あいつまだ鳴いてるみたいだけど…



ああ…、最近あたしの言うこと
ちよつとは聞くようになってさ…、

はは…っ

だから少しの間は
あのままでも大丈夫かな…

そ、そうなんだっ…、
いつの間に…すごいな…



えっと…そんなことより…
さっきのこと…なんだけど…

…っ!!

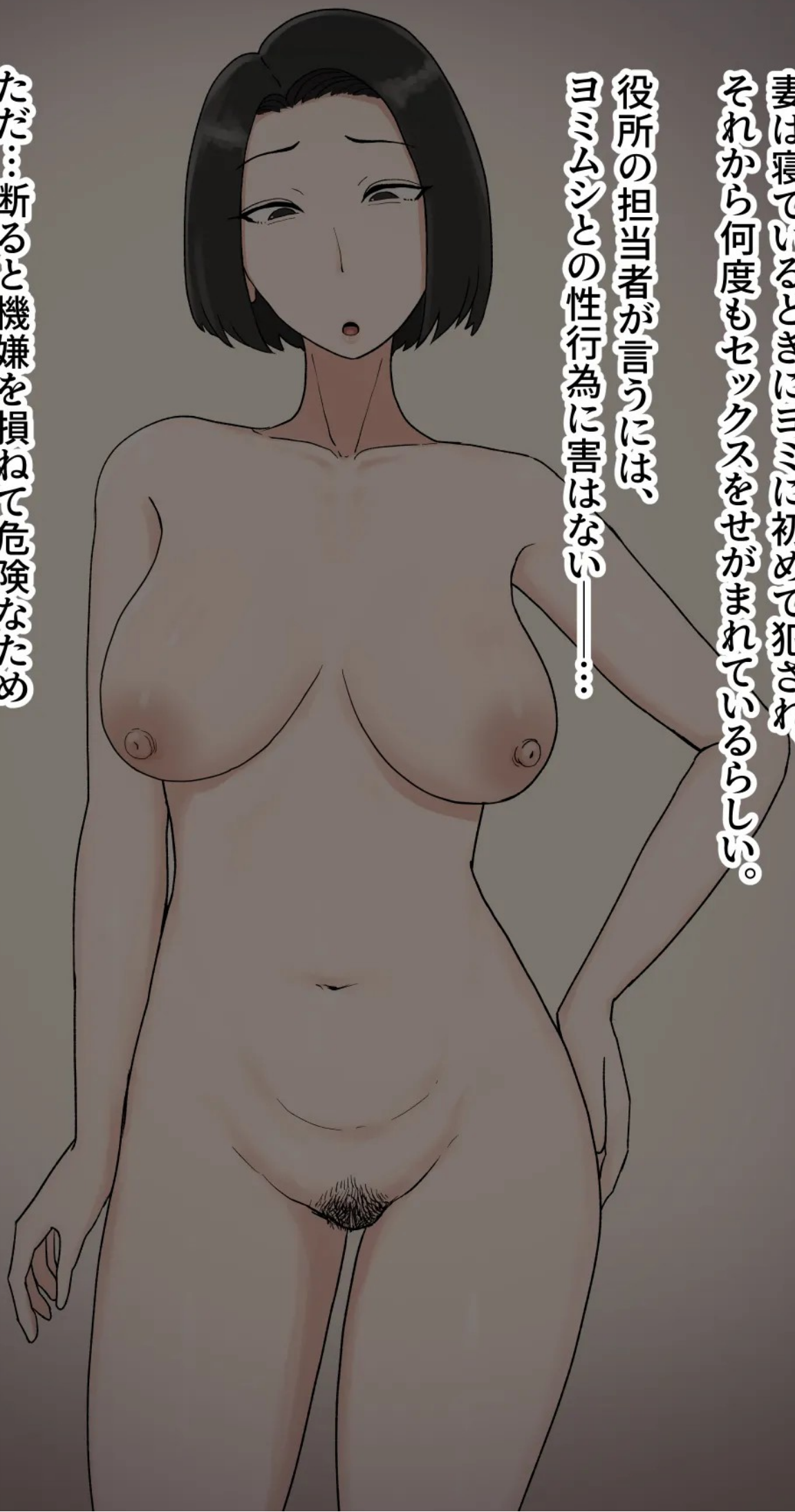
そうして妻はこれまでの
経緯を話し始めた…。



妻は寝ているときにヨミに初めて犯され、
それから何度もセックスをせがまれているらしい。

役所の担当者が言うには、
ヨミムシとの性行為に害はない……

ただ……断ると機嫌を損ねて危険なため
できるだけ応じてあげた方がいいと聞き、
仕方なくシてあげていたらしい……。



そっか…気が付かなくてごめん…、
最近あいつと仲良くしてたのも
機嫌を取る演技だったんだ…

あはは…

——…えっ？

あっ…そ、そうなの…っ！

あいつ意外と繊細なんだよね…



——…ってことで、
さすがにもう限界みたいだから
そろそろ…行ってくるね…

えっ、あんな状態のやつと…？
いや…そ、それなら…



—…俺も一緒に
部屋にいていいかな…？

え…っ!?

—…っ?!
なっ…なんで…？



いや…あんな興奮した状態で
なにかあったら大変だし…



もしものときにいつでも
助けられるように…と思って…



心配してくれてありがと…、
たぶん大丈夫だと思うけど…

そこまでいうなら…、
恥ずかしいけど…いいよ…っ



それって、もしかして…

えっと…まず口でするんだけど…、
これもなんか気に入ってるみたいだから…

♡
キル・ワ…♡
♡

♡
ガニツ…♡
♡



（俺はしてもらったことないのに…）

ああ……ごめんごめん、
わかってるって……





（!!!）

んむっ

IP

—…だっだいじょうぶ!!

コクッ…

（あんなデカイの…二気につ—）

おん…♡

レー…♡

レー…♡

ムムム♡

ビクッ…♡



↑...そんな入念に...っ

♡ソクソク♡♡♡

ムフー♡...♡

♡フー♡...♡

（それも機嫌を取るためののか...?）



—…っ!!?

えっ…ちよっ…!!?

ピクッ♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

(なんで…っ、そこまで
しなきゃいけないのか…っ!!)



ビッ!!
ビッ!!

ビッ!!
ビッ!!

ぐんぐん!!
ぐんぐん!!

ぐんぐん!!
ぐんぐん!!

どろろ!!
どろろ!!

どろろ!!
どろろ!!

ニギッ!!
ニギッ!!

わっ!!
わっ!!

（うわっ…くさっ…!!
それにあの量…!!）

（絶対に苦しいはずなのに…、
そんなの飲む必要ないだろ…っ）



ちよう...だ...じよう...!!

はあ...!!

ドロ...

ピョピョッ...

んあ...♡だ...♡だ...♡
いつものことだからっ...♡♡♡

いや...でも...



A close-up illustration of a character with long, dark hair and a pinkish-red face, looking down with a sad expression. The character has small, dark eyes and a slightly open mouth. The background is dark purple with several small, pink hearts floating around the head.

それでも…見ていく…？

なにか嫌な予感を感じたが
もう後戻りはできなかつた
！！！！

↑…俺たちの寝室で…

ドンッ…

↑…ほんとにこれから
ヨシとセックスするのか…?

ドンッ





피냐...

ど、どうかした…？

——えっと…
これからすることは
あくまでも演技だから…♡



うん…
うん…

ねえ…っ♡ほらっ…♡
おちんぽちようだい…っ♡

ム…っ♡
!!

ハッハッハッ…!!
♡

ハッハッハッ…!!
♡

ハッハッハッ…!!
♡

ヨミのおつきなおちんぽで
おまんこずぽずぽして…っ♡♡

ユサッ…♡

—…っ♡なっ!!

フリフリ…♡



—……っ!!♡

……きたあ……っ♡♡♡

ニギニギ!!♡♡♡

ズッ!!♡♡♡

ズッ!!♡♡♡

ん!!♡♡♡

ヒッ♡♡♡

ん!!♡♡♡

ズッ!!♡♡♡

ちよ……っ!!?
なんだよいまのっ……!!?

なにつて…「演技」だつて…♡
喜ばせるためにわざとね…♡
本心じゃないから…っ♡♡♡

♡ゲッ…♡

ゴウゴウ…♡

ズル…♡
ニャ…♡

ビクビク…♡

いや…でも、
さすがにそれは…



それが演技だとは思えなかったが……

ニギョッ!!

ズッ!!

ズッ!!

おっ!!

ビクッ

ほおっ!!

オレンッ!!

自分はただ見ていることしかできなかった……



↑…こんなに乱れた姿…
俺には見せたことなかったのに…

ほっ♡♡♡

おっ♡♡♡

ビク♡♡♡

グオ!!♡♡♡

ちんぽ♡♡♡

ビク!!♡♡♡

ズダ♡♡♡
ズダ♡♡♡
ズダ♡♡♡

ブルッ!!♡♡♡
ブルッ!!♡♡♡

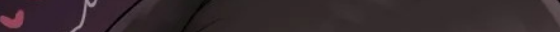
（そんな…そんなに…
そいつがいいのかっ…!!）

パンダ
トナリ
!!

ツクツク...

グッ...

（くそっ…なんで…っ、
こんな興奮してるんだ…!!）

A pink lightning bolt with a heart at its base, set against a dark background.



—ほ…おっ…♡…おっ…♡…
これ…♡…さ…♡…
なかだし…♡…ぎもぢい…♡…

お…♡…

ム…♡…

お…♡…

ゾクゾク…♡…

ビクッ…♡…

ズ…♡…

ビク…♡…

ビクビク…♡…

ポッ…♡…

（なんだこれ…っ
触ってもいないのに
こんなにも…）

…

—…はあ…はあ…っ♡♡
えっ…「それ」…もしかして…

えっ…っ…あっ！
いざっ…っ…これは…

ピクッ…♡

ガッガッ…♡

ヒクッ…っ！

——…ヨミはこれくらいじゃ
満足できてないみたい…♡

ムウ♡♡♡♡♡

ギュ…♡

グ…♡

キュ♡♡♡♡♡

ズ…♡

ハア♡
ハア♡

あは♡♡♡♡♡

——…どうする…？
まだ見て…いく…？♡♡



その後もヨシと妻の
セックスを見続け……

夫婦の関係は確実に
歪み変わっていった……



あれから数日後

……

ただいま〜…



おかえり〜、
今日もお疲れ様♪

ヨミは未だに
出ていく気配はない……。

なに？

ムウ……

妻は休んでいた仕事を辞めて、
自治体から補助金をもらいながら
世話に専念するようになった。

…今日はなんかあった？

ピグッ…♡

ピグッ…♡

ペロ…♡

えっ？別に何もなかったけど…

ズリッ…♡



♡ / 7 / 7 / 7 ♡
♡

♡
♡
♡
♡
♡

グイッ...♡

♡ レロオ...♡

♡ あ...♡

♡ ド
♡ ツ
♡

ヨシは俺に見せつけるように…

んっっっっ♡

チュッっっっ♡

妻に「イタズラ」をし続けている…。

妻は「仕方ない」と言っているが…

♡バグバグッ…!!♡

♡んむっ…!!♡

演技をすることも嫌がることもなく、
俺の前で堂々と行為を楽しんでいる…。

♡んちゅっ…!!♡

♡ちゅるっ…!!♡

♡グチュッ…!!♡
♡チュルッ…!!♡
♡ヌチュッ…!!♡

そして...それを見て俺は...



んっ...んっ...

んっ...んっ...

んっ...んっ...

んっ...んっ...

んっ...んっ...



ム？

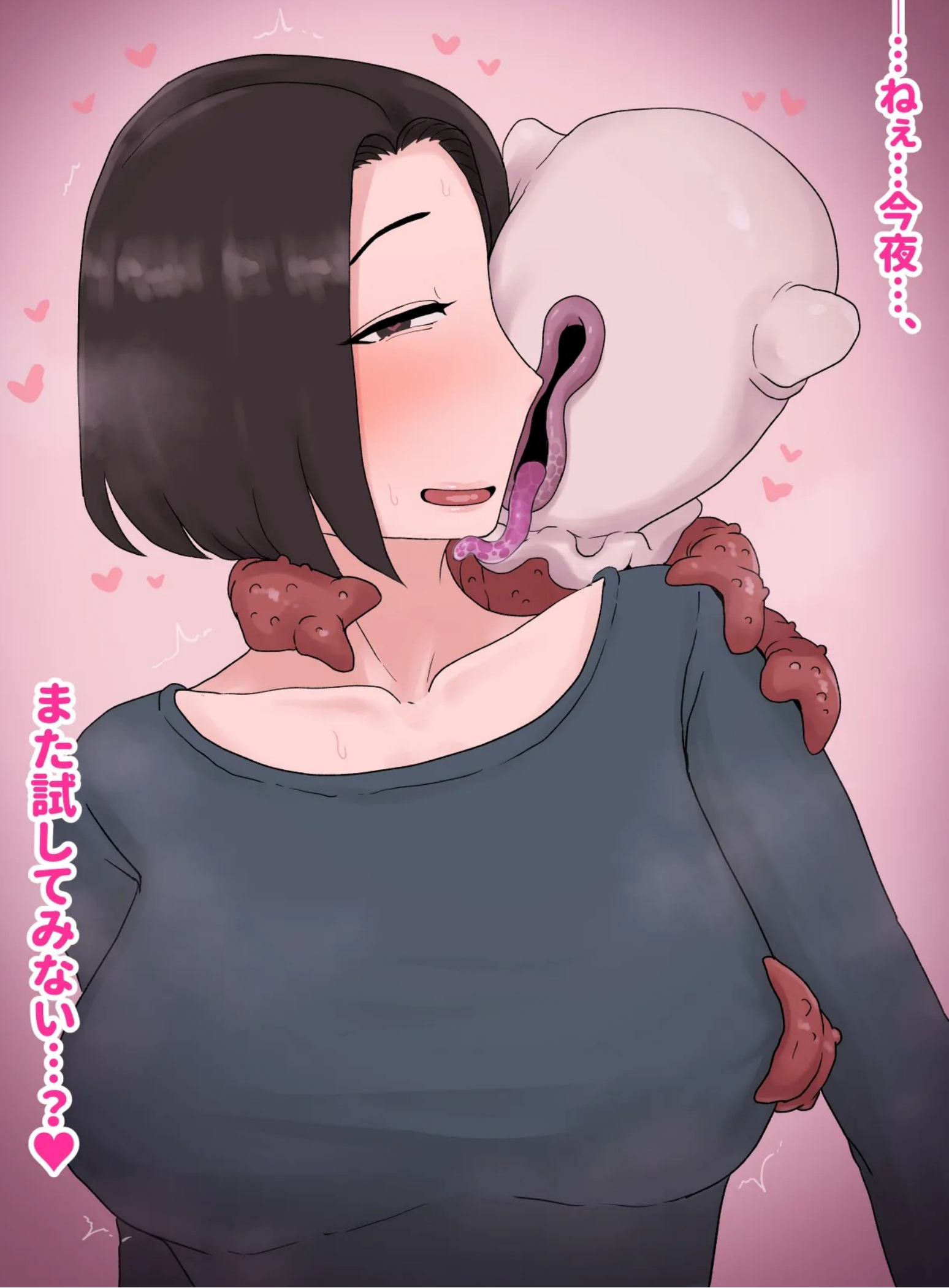
♡♡♡♡♡

ニャ〜♡♡♡♡♡

ニャ〜♡♡♡♡♡

…ねえ…今夜…

また試してみない…??♡



…はあ…はあ…

…あ…

…

ユサ…

ユサ…

ごめん…やっぱだめだ…

ヌメ…

クチ…



妻とヨミのセックスを
見たあの日から…

そっか…

『あること』でしか勃たなくなり、
最後まですることができなかった…。



……じゃあまた……

ムンムン……
ムンムン……

見てくれる……？♡♡



その「あるじ」とは……

「妻とヨシの行為を見る」……



直接話したわけではないが
このことは妻にバレている…。

いいよっ…♡
きこっ…♡

ニヤッ…♡

けれども…嫌がる様子はなく、
むしろ自ら見せつけてくる…。

ゲッ♡
ゲッ♡





ドビドビ!!!

ハハハハ!!!

イクッ!!!

ズズ!!!

おおっ...♡ やっぱこれがいい...♡
ヨミの...太くてながい
おちんぽが二番すき...♡♡

ぶっ...♡♡
ほっ...♡♡

イクイク...♡

グイッ...♡♡

ズル...♡♡

—...♡



んっ…♡ちっさいちんこじゃダメなの…♡
一番奥の気持ちいいところ突いてくれる
立派なおちんぽがいいの…♡♡♡

んちゅっ…♡♡♡

んちゅっ…♡

んちゅっ…♡♡♡

んちゅっ…♡♡♡

んちゅっ…♡

んちゅっ…♡

んちゅっ…♡

この歪んだ欲求を見透かすかのように
妻は言葉や行為で劣情を煽ってくる…。

えろお〜♡♡♡

ギュッ♡
チュッ♡
チュッ♡

ピカピカ♡♡♡

ズレッ♡♡♡

悔しいはずなのにひどく興奮し、
股間に伸びる手が止められない…。

ズッ…

ピカッ…

ゾクゾク♡♡♡

あえっ...♡ヨミっ...すきい...♡♡♡
あいしてるのお...♡だからもっどっ...♡
おちんぼじゅぽじゅぽしてえっ...♡♡♡

はぁっ...♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
ゴクッ...♡♡♡

♡♡♡♡♡
パイっ...♡♡♡

♡♡♡♡♡
イクッ...♡♡♡

はぁっ...はぁっ...!!

ズプッ♡

♡♡♡
ドキッ♡



あつ♡おちんぽビクビクしてる…っ♡
もうイきそうっっ♡♡イクんでしょっ♡
いいよっ…っ♡いっしょにイ…っ♡

ムクムク…♡

だ…っ♡

ゲ…っ♡

ドモモ…♡
グ…っ♡
ズ…っ♡

ビクビク…っ♡

だ…っ♡

せいえきちようだいっ♡
あたしのなかにっ♡♡
たくさんだして…っ♡♡





きたっ...♡♡♡これっ...すごぉ...♡♡♡
あたまふわふわで...♡♡しあわせえ...♡♡
きもちいのがとまんない...♡♡♡

♡♡♡おん...♡♡♡

♡♡♡ほおっ...♡♡♡

♡♡♡くっくっ...♡♡♡

♡♡♡ざわ...♡♡♡

せいえきっ♡♡♡もっとう...♡♡♡
おなかいつぱいになるまで
びゅるびゅるだしてえ...♡♡♡

♡♡♡ぽろぽろ...♡♡♡

♡♡♡どろろ...♡♡♡
♡♡♡どプッ...♡♡♡

—…はあ…はあ…っ♡♡
あたし…今すぐくしあわせ…♡

ム♡!!♡♡

ハア…♡

ハア…♡

ギョッ…♡

ピクピク…♡

あの時、ヨミと出会って
ほんとうによかった…





チリチリ...

ふんふん...

あ...

ジュルジュル...

あはっ……♡

あなたも……でしょ？♡



それからヨミは家を離れず……

夫婦で歪んだ快楽に堕ちていった……





終

